

安全データシート

作成 : 2015年8月31日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ナフイオン膜 (EC-NM-211, 212, HP, XL)
会社名 : 株式会社東陽テクニカ
住所 : 〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6
担当部門 : 営業第1部
電話番号;03-3245-1103 FAX番号;03-3246-0645
整理番号 : A080-7451-20 Rev. A
推奨用途及び使用上の制限 :

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性 : 可燃性固体 ; 分類できない
健康有害性 : 急性毒性 経口 ; 分類できない
経皮 ; 分類できない
吸入 ; 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 ; 分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 ; 分類できない
呼吸器感作性 ; 分類できない
皮膚感作性 ; 分類できない
生殖細胞変異原性 ; 分類できない
発がん性 ; 分類できない
生殖毒性 ; 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) ; 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) ; 分類できない
吸引性呼吸器有害性 ; 分類できない
環境有害性 : 水生環境有害性(急性) ; 分類できない
水生環境有害性(長期間) ; 分類できない
オゾン層への有害性 ; 分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル : なし
注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : なし
注意書き : なし
[安全対策] なし
[応急措置] なし
[保管] なし
[廃棄] なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名または一般名 : ナフイオン®膜

成分	濃度範囲(%)	化学式	官報公示整理番号	CAS No.
ナフイオン®	70 ~ 100	(C ₇ HF ₁₃ O ₅ S·C ₂ F ₄) _x	—	31175-20-9
ポリテトラフルオロエチレン	0 ~ 25	(C ₂ F ₄) _x	6-939 (化審法・安衛法)	9002-84-0
添加剤	0 ~ 5	非公開	—	非公開

4. 応急措置

吸入した場合 : 過熱及び燃焼により生じた煙を吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動させ、うがいをさせる。異常が生じた場合は医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着した部分は流水で流した後、石鹼を用いてよく洗い落とす。痛み、痒み等、皮膚に異常が生じた場合は医師の診察を受ける。

眼に入った場合 : 清浄な水で最低15分間洗浄する。洗眼の際、瞼を指でよく開き、眼球の隅々までよく水が行きわたるように眼を上下左右に動かす。異常が残る場合は専門医の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口の中をすすぐ。異常が生じた場合は医療措置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、水

使ってはならない消火剤 : 特になし。

特定の消火方法 :

- ・初期の火災には、粉末、炭酸ガス、水などを用いる。
- ・大規模火災の場合は、泡消火剤で空気を遮断し、一気に消火する。
- ・周辺火災の場合は、周辺の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器はすみやかに安全な場所に移動する。
- ・消火水や希釈水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。

消火を行う者の保護 :

- ・有毒なガス、ヒューム（フッ化水素、酸フッ化物、炭素酸化物、硫黄酸化物等）が発生する可能性があるため、消火作業は必ずネオプレン製手袋及び自給式呼吸器等の保護具を着用し、風上から行う。
- ・フッ化水素ヒュームは水と反応してフッ化水素酸になるので、吸入及び接触しないようにすること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 :

- ・漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。
- ・回収作業の際には必ず保護具を着用し、蒸気やミストの吸入及び眼、皮膚、衣服への付着を避ける。
- ・風下で回収作業をしてはならない。

環境に対する注意事項 :

- ・下水、河川、排水溝等に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法・機材 :

- ・付近の着火源となるものを取り除き、火災発生の防止に努める。
- ・漏出物は箒等で掃き集め、密閉容器、袋等に回収する。
- ・火花を発生しないシャベル等を使用する。
- ・回収物は「廃棄上の注意」の項の記載に準じて処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 過熱及び燃焼により生じた煙の吸入及び皮膚との接触は極力避ける。ばく露の恐れがある場合には、状況に応じて適切な保護具を着用する。

- ・長期間の取り扱いあるいは反復したばく露はできる限り避ける。
- ・作業後は石鹼を用いて手洗いや洗顔を励行する。

保管 : 直射日光及び高温を避け、乾燥した冷暗所に保管する。

- ・可燃性物質から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：高温処理する際は、設備／装置全体を密閉化するか、局所排気装置を設置する。

取扱い場所近くに、洗眼器および身体洗浄シャワーを設置する。

状況に応じて、可燃性ガス・有毒ガス測定器、可燃性ガス警報器を設置する。

管理濃度：作業環境評価基準；設定されていない

許容濃度：日本産業衛生学会(2014)¹⁾；設定されていない

ACGIH-TLV(2015)²⁾；設定されていない

保護具：呼吸器の保護具：有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器等

手の保護具：ネオプレン製の手袋

目の保護具：保護眼鏡又は防災面

皮膚及び身体の保護具：長靴、前掛け、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観：自然色、膜状

臭い：アルコール臭

沸点：データなし

融点：データなし

分解温度：175℃

引火点：データなし

発火点：データなし

比重：データなし

揮発分：0.15%

水溶解性：データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性：通常の取扱い条件においては安定

危険有害反応可能性：特になし

混触危険物質：可燃性物質

避けるべき条件：175℃以上の高温

危険有害な分解生成物：加熱によりフッ化水素、アルコールヒューム、フッ化カルボニル、有毒フッ素化物等が発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性：

経口毒性；ラット ALD >20000 mg/kg (ファイオン®)³⁾

ラット LD₅₀ >11280 mg/kg (ホ°リテトラフルオロエチレン)³⁾

注) ALD：概略致死量， LD₅₀：50%致死用量

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：データなし

呼吸器感作性：データなし

皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：IARC；グループ3（ヒト発がん性に分類できない物質）（ホ°リテトラフルオロエチレン)²⁾

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし

吸引性呼吸器有害性：データなし

その他の情報：

ファイオン®及びホ°リテトラフルオロエチレンは高分子であるため、有害性を示す可能性は低い。

1 2. 環境影響情報

フイオ[®]及びポ[®]リテラフルオエチンは高分子であるため、有害性を示す可能性は低い。

分解性：データなし

生態蓄積性：データなし

生態毒性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

1 3. 廃棄上の注意

- ・下水、河川、排水溝等の環境中へ廃棄しないこと。
- ・リサイクル又は廃棄する際は認可を受けた専門業者に委託する。
- ・廃棄の際は、付着物を完全に除去した後に処分する。
- ・焼却する場合は、フッ化水素や他の酸性燃焼物を除去できるスクラバー付きの焼却炉を使用すること。
- ・関係法令を遵守し、自治体の指示に従う。

1 4. 輸送上の注意

- ・国連分類：非該当 国連番号：非該当 応急措置指針番号：なし
- 海洋汚染物質：非該当
- ・容器の破損等の無いことを確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
- ・その他輸送関係法規を厳守する。

1 5. 適用法令

以下の法律には規制されない。

消防法、化審法(特定化学物質、優先評価化学物質)、労働安全衛生法(危険物、鉛則、変異原性物質、特化則、通知対象物質、表示対象物質)、毒劇物取締法、PRTR法、船舶安全法、港則法、航空法

1 6. その他の情報

引用文献：

- 1) 「許容濃度等の勧告(2014年度)」；産衛誌 56巻, 162(2014年)
- 2) Guide to Occupational Exposure Values (ACGIH 2015)
- 3) 製造メーカーの「製品安全データシート」 (2015年)

記載内容の問合せ先：営業第1部

電話番号；03-3245-1103

ここに記載された情報は、弊社データを含め種々の技術出版物にあるデータに従ったものです。必要かつ安全な取扱いを決定する場合には、使用者がその責任においてこの情報の利用をお決め下さい。

なお、ここに記載された情報は、作成時点では弊社の調査による最新の情報に基づき作成されたものですが、法律、規制等の改正、新たな毒性試験結果の発表等により、改訂がありうることをご承知下さい。